

学生募集戦略検討委員会 総務・企画委員会共催 「学募共同事業」勉強会を開催しました

2019年10月4日(金)に、日本福祉大学東京サテライトにおいて、学生募集戦略検討委員会と総務・企画委員会共催の「学募共同事業勉強会」を開催し、11大学22名にご参加いただきました。

冒頭、本協議会 丸山悟会長（日本福祉大学理事長）より、「リクルート「カレッジマネジメント」によれば、福祉系学部・学科は、「再成長予兆期」にある。現に、全国788大学の1/4弱(188校)が社会福祉士受験資格を出す課程をもっており、全大学のうち9.4%(74校)に「福祉」の名がつく学部がある。よって福祉分野は、少なくとも社会科学や人文科学を志向している学生からは、何らかの形で目を向けられるであろう分野だということを押さえておく必要がある。「福祉に関心がある学生を幅広く獲得すること」と「より積極的に「福祉」に辿り着こうとしている学生を獲得すること」の両方を進めるため、協議会としてできることを真剣に考えていきたい。」との開会挨拶がありました。

続いて、以下の内容で勉強会を進行しました。

【2019年リクルート進学ブランド力調査について】

報告：株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 飯島隆介 氏

「2019年進学ブランド力調査」の関東、東海、関西地区の結果概要が報告されました。

「高校3年生は安全志向が高まっており、A0入試等で年内に進学先を決めたい流れがでてきている。偏差値上位大学の志願度が下がり、中堅大学の志願度が上がる傾向や、自宅から通える範囲に進学したいという傾向もでてきている。高校生が受験活動始める時期が早まってきており、今後は、高校2年生に向けて入試情報を丁寧に出していくことも必要である。」と述べられました。

【Twitter 広告の配信状況について】

報告：株式会社ボーダーリズム 横地祐人 氏

2019年6・8月に実施したTwitter広告の配信結果について、報告がされました。

その結果を踏まえて11月にTwitter広告を配信するにあたり、ターゲット層や配信内容について、グループに分かれ意見交換を行いました。

また、次年度の学募共同事業の取り組みについても意見交換を行いました。

最後に閉会挨拶として、本協議会 学生募集戦略検討委員会幹事校である淑徳大学 総合福祉学部長 大橋靖史先生より、「生産的かつ前向きな議論がなされたと思う。大学同様、福祉分野でも新しい取り組みをし続けていかなければ、高校生は来なくなる。新しい取り組みをし続けてだめなら考え直すことが必要だと感じた。本協議会は、このような開かれた場で議論し、議論を具体的な活動に発展させていく会だと思う。また皆様と勉強していきたい。」とのご挨拶をいただき、閉会しました。

以上、半日の勉強会ではありましたが、今後の取り組みを考える有意義な勉強会となりました。

次の学募共同事業勉強会は12月に開催し、次年度の学募共同事業の取り組み等について話し合う予定です。

